



神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2019-2020年度 第12週報 No. 2086 2019年(令和元年) 9月27日 第2086回 例会記録 10月4日発行

本日〈10月4日〉のプログラム

- ◆ 斉唱 「君が代」「奉仕の理想」
- ◆ 献立 ビーフカレー
- ◆ 卓話 「睡眠時間だけが重要ではない！
人生の質を向上させる睡眠力UP法」
睡眠栄養指導士 松浦 恵 様
(紹介者 加野 亮一 会員)

〈〈本日のBGM〉〉
アルバム「フルート名曲集」より



写真提供 小池 将夫

司 会 田口健太郎 副幹事

誕生日祝 田口健太郎 会員 (9月29日)

点 鐘 白鳥 厚夫 会長

斉 唱 「手に手つないで」
ソングリーダー 馬場 佳子 会員

四つのテスト 岡部雄一郎 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)



ゲスト紹介 皆川 康雄 様(ゲストスピーカー)



2019-2020年度 RI 会長 マーク・ダニエル・マローニ



第2590地区 ガバナー 轟 淳次

会 長	白鳥 厚夫	会 計	白井 康夫
会長エレクト	山本 芳弘	副 会 計	渡 邊 淳
副 会 長	小山市 康	S A A	友 添 辰 哉
副 会 長	飯田 泰之	副 S A A	金 森 欣 一
幹 事	田中 龍太郎	副 S A A	伊 東 英 紀
副 幹 事	田口 健太郎	クラブ会報	中 野 真 理

例会日 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン
URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

事務局 ホテルキャメロットジャパン内
 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
 TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
創立記念日 昭和 51 年 5 月 29 日

会長報告

白鳥 厚夫 会長

- ・《訃報》古澤会員のお父様（總(さとし)様）が9月23日にご逝去されました。（享年84歳）ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。葬儀は通夜9月30日(月)18時～19時、告別式10月1日(火)10時30分～11時30分 横浜コヤスホールにて執り行われます。
- ・5月1日より実施してまいりましたクールビズは、9月30日をもって終了致します。皆様のご理解とご協力、誠にありがとうございました。
- ・R I 事務局より、我妻会員にMPHFのピンが届いておりますので贈呈致します。

幹事報告

田中龍太郎 幹事

- ・第2590地区第6回地区大会芸術祭作品出展のお願いが来ておりますので回覧致します。
- ・先週に引き続き、前年度の年次報告書の校正を回覧致します。関係箇所のチェックをお願い致します。
- ・次週より例会受付にて地区大会登録料を収集致します。全員登録10000円です。よろしくお願い致します。

出席報告

森永 健 出席委員長

会員総数	53名	(33+20)名	
出席会員数	37名	(24+13)名	
出席率	80.43%		
ゲスト	1名	ビジター	0名
前回補正後	87.23%	前々回補正後	85.71%

スマイルボックス

友添 辰哉 SAA

白鳥厚夫君 ①皆川さん、本日の卓話、楽しみです。②古澤さん、お父様ご愁傷様です。

山本 登君 本日所用にて早退致します。

茂木知子さん 前々回の川柳の江畑先生の卓話の際、私のことをつっつく人がいました。川柳の“妻の後ろ姿はふなっしー”という句に私の方に矢印が描いてありました。岡部さんです。で、岡部さんの秘密を暴露します。「自分は上半身はどうしても良いです。下半身のみ鍛えています」意味深ですね。

加野亮一君 皆川様、卓話楽しみにしています。

馬場佳子さん もうすぐ10月ですね。ラグビーも盛り上がっています。

友添辰哉君 先日、北海道にゴルフに行って来ました。すすきのニッカウキスキーのニッカ・バーに行きましたら、ここでも今年度の結婚祝いで贈っています、うすはりグラスを使用していました。美味しかったです。会員の皆様、是非試してみてください。

9月27日	6件	9,000円
本年度累計		446,500円
年度目標進捗状況		-24%

急増！人を恐れなくなった野生動物たち

NPO法人野生動物救護獣医師協会（WRV）神奈川支部
支部長 皆川 康雄 様
(紹介者 茂木 知子 会員)



本来、野生動物は自然環境下で自活して生きている動物です。ですから、人間は干渉せず、また逆に野生動物から干渉されずに一定の距離を保ちながら、人間は人間の世界で、野生動物は野生動物の世界で暮らしています。

ところが、近年、一部の野生動物が人間の世界に入り込みトラブルを起こすようになってきました。イノシシ、トビ、ハクビシンたちです。イノシシは警戒心が強く人目を避けて主に夜に活動していますが、人を恐れなくなったイノシシは、日中でも活動するようになり市街地にもやってきて、時に人を襲うようになりました。トビはトンビとも言われ、“ピーヒョロロ〜”と上空を飛んでいる姿は親しみがありませんが、人を恐れなくなったトビは、人が持っている食べ物を狙って奪い取るようになりました。ハクビシンは、都市部の民家の屋根裏に住みつくようになりました。人が住んでいてもお構いなしで繁殖までしています。いったい、なぜなのでしょう？

イノシシは、本来里地里山の雑木林が棲み処です。高度経済成長期以降、その棲み処は宅地やゴルフ場開発によって失われていきました。その一方で、農村地域では過疎化や高齢化が進み、人の気配がしない村落の農地周辺が棲み処（農作物が餌場）となっていったのです。人が作るおいしい農作物に執着するようになったイノシシが、人を恐れぬ大胆な行動へと発展していったと考えられます。トビは身近にいる猛禽類です。生きた獲物を狩りすることもできますが、死体を見つけて食べる（動かなくても獲物と認識できる）ことが得意です。人が興味本位で始めた“餌付け”によって人の手には獲物（食べ物）があり、簡単に手に入ることを学んでしまったと考えられます。

ハクビシンは、本来日本には生息していなかった外来生物です。戦前から戦後にかけて毛皮需要を目的に輸入・飼育したことが由来とされています。慣れない土地で、それこそ命がけで樹上生活者としての運動能力を活かし、人目に付かないように餌場やねぐら、繁殖場所を確保していきながら、都市の空間を巧みに利用できるようになったと考えられます。

こうして考えると、先に干渉したのは人間側です。かれらはその行為に順応した、あるいは逆手にとって行動したにすぎません。つまり、私たちがこれまで行ってきたふるまい方を改める必要があるのです。そのためには、まず私たちの隣人として生きる野生動物の存在を意識し、彼らについて正しく知ることが何よりも大切なのです。

ロータリーニュース

RI 会長からのメッセージ

2019年10月

長年にわたる一貫したポリオとの戦いは、何十年の間ロータリーの代名詞となってきました。これまでの実績は誇りに思うべきものがあります。

ポリオ根絶活動は、著しい前進を遂げてきました。1988年にはポリオは125カ国で流行しており、世界中で年35万件発生していました。

それ以来、ロータリーと世界ポリオ根絶推進活動のパートナー団体は、ポリオの発生件数を99.9%以上も減少させ、25億人の子どもたちに予防接種を施し、1800万件のまひ発症を予防してきました。長年の間に、国々が次々とポリオフリーになるのをロータリーは手伝ってきました。

その中には、それほど遠くない昔にはポリオフリーの実現は不可能だと言われていたインドもあります。3種類のポリオウイルスのうち、2型はすでに根絶され、3型も根絶宣言が下される日は近づいています。ナイジェリアでは3年近く野生株ポリオウイルスの発生例は報告されていません。この状況が続けば、ただ1種の野生株ポリオウイルスのみが、全世界でもアフガニスタンとパキスタンでしか見られないようになるでしょう。

この地域は大きな課題を抱えています。とはいえ、楽観的な見方を忘れないことは大事です。これまでに達成してきた成果のことを思い起こしてください。希望を失ったり、実現不可能だとうなだれたりしている場合ではないのです。ポリオ根絶は実現させます。しかしそれには、油断せずに監視を続けなくてはなりません。世界ポリオデーは、世界中のロータリアンが一緒になって、ポリオ根絶活動の成果を讃え、ポリオを永遠にこの世から消し去るために必要な今後の行動を計画する日です。大事なことは「行動」。まだ重要な仕事が残っています。

今年は、世界中でひとつでも多くのロータリークラブが世界

ポリオデーのイベントを実施してもらいたいと考えています。アイデアが浮かばないという方には、ビューイングパーティーを開催して、友人やクラブ会員と一緒にロータリーの特別プログラムを観るといったのがいいでしょうか。また、クラブの例会で世界ポリオデーを特集したり、募金イベントを開催することもできます。ポリオ根絶のために集められた資金には、ビル&メリнда・ゲイツ財団が2倍の額を上乗せします。

イベントを企画したら、endpolio.org/ja/register-your-eventからご紹介ください。

それから、endpolio.org/ja/world-polio-dayで入手できる世界ポリオデー・ツールキットでイベントを宣伝しましょう。

10月24日のロータリーのポリオ根絶特別プログラムをお見逃しなく。今年は世界中の異なる地域のタイムゾーンに合わせてフェイスブックで配信されます。国際ロータリー公式フェイスブックページ（日本語）から参加予定をクリックしてください。イベントをソーシャルメディアでフォローし、シェアすることもお忘れなく。

目標を達成したあかつきには、ポリオは地球上から姿を消した2番目のヒト疾患となり、ロータリーは世界中で絶賛されることとなります。しかし何より大事なのは、子どもたちがこの恐ろしい、体の自由を奪う病気の危険に二度とさらされなくなることです。ロータリーはポリオ根絶運動のために今後も世界をつなぎ続けなければなりません。ポリオ根絶の行方は私たちにかかっているのです。かならず実現させましょう。

マーク・ダニエル・マローニー

2019-20年度会長

ナイジェリアでポリオ根絶に向けた画期的進展

8月21日、ナイジェリアでは野生型ポリオウイルスによる症例が最後に報告されてから3年が経過しました。これにより、来年には世界保健機関（WHO）アフリカ地域全土がポリオフリーとして宣言される可能性があります。

ナイジェリアでのこの画期的進展は、国内外からの資金、何千人もの保健従事者による尽力、北部での情勢不安によりこれまでワクチンを届けることができなかった地域での予防接種戦略も含め、各方面での努力が実を結んだ結果です。

ロータリーのインターナショナル・ポリオプラス委員長であるマイケル K. マクガバン氏は、次のように述べています。

「ロータリー、世界ポリオ根絶推進活動のパートナー、ナイジェリア政府は、予防接種と疾病検知システムを強化してきました。ナイジェリアでこれまでワクチンを届けるのが困難だった地域で、より多くの子どもたちに予防接種ができるようになりました」

ナイジェリアのロータリー会員が重要な役割を果たしていると述べるマクガバン氏は、「ロータリアンはポリオ根絶への認識向上、政府へのアドボカシー、安全な水を危険な地域にもたらずといった補足的な基本的保健ニーズへの取り組みにも尽力した」と話します。

ナイジェリアは、アフリカ最後のポリオ常在国です。

アフリカで野生型ポリオウイルスの根絶が認定されれば、WHOの6地域のうち5つにおいてポリオフリーが達成されることとなります。同じく野生型ポリオウイルス常在国であるアフガニスタンとパキスタンでは、ウイルスの伝搬が現在も阻止されていません。

ロータリーのナイジェリア全国ポリオプラス委員長であるツンジ・フンショ氏は、ナイジェリアでの達成を評価しつつも、ロータリー会員が祝賀するには時期尚早であると警鐘を鳴らしており、ナイジェリアですべての子どもに定期的な予防接種を実施することが引き続き課題であるとしています。

フンショ氏は次のように述べています。「ナイジェリアに野生型ポリオウイルスが再び持ち込まれないようにすることが、極めて重要です」

そのためには、ロータリーによる積極的なアドボカシー活動と予防接種キャンペーンへの認識向上を継続し、ロータリー会員が引き続き募金を行うことが必要であるとフンショ氏は話します。ロータリーはこれまで、ナイジェリアにおけるポリオ根絶活動に対し、2億6800万ドルを寄付しました。

「ポリオのない世界を夢見た最初の団体として、ロータリーはこの約束を守ることに献身しています」とマクガバン氏。「ナイジェリアでの進展はこの目標への大きな前進ですが、パキスタンとアフガニスタンでも同様の進展が見られるように、活動の勢いを保たなければなりません」

ロータリー財団が12年連続で最高評価を得る

ロータリー財団はこの度、米国の慈善団体を評価する独立評価機関であるチャリティナビゲーターより、12年連続で最高評価となる4つ星を獲得しました。

財団は強固な財務健全性と、説明責任ならびに透明性へのコミットメントによってこの評価を得ることができました。チャリティナビゲーターが評価する団体のうち、12年連続で4つ星評価を獲得した団体は、全体の1パーセントにすぎません。

チャリティナビゲーターの会長兼CEOのマイケル・サッチャー氏は次のように述べています。「4つ星評価を得ることは、ロータリー財団が業界の標準を超越し、ほかのほとんどの慈善団体よりも優れた業績を上げていることを意味しています。この優れた評価は、ロータリー財団がほかの団体と一線を画し、一般の人たちにもその信頼性を証明することにつながります」

チャリティナビゲーターによる評価では、財団による寄付の使用、プログラムとサービスの維持、健全なガバナンスと開放性などが審査されます。



◆表紙の写真◆

先般の台風15号で、長期の停電被害の続いた千葉県。木更津～上総亀山間を走るJR久留里線も運休。やっと開通したとのことで、9月22日、観光列車を撮影しました。乗客は皆楽しそうでした。

【写真提供 小池 将夫 会員】

クラブ会員の広場

10月5日（土）、米山学友会会長 李徳雨氏と奥様 兪妹妹様が主催の“結婚祝いお食事会”が本牧の韓国料理屋『実家』にて盛大に開催され、多数の会員が参加して参りました。

次回〈10月11日〉の予定

「組織力向上～アンガーマネジメントの手法を活用して～」
東京海上日動あんしん生命保険㈱ 横浜支社 第二営業部
浅井 環 様（紹介者 加野 亮一 会員）